

総務省統計局、(独)統計センターの移転に関するヒアリング資料

◆ 全国の中でなぜ和歌山か、特に東京以外の他地域と比較して、そこに移転するメリットは何か

① 和歌山市移転による財政的メリット

- I 和歌山市内の既存施設を活用する場合、**耐震化・改修工事費は和歌山県が負担**
- II 和歌山市内に施設を新設する場合、**県有地を無償貸与**

② 和歌山市の交通アクセス利便性

統計局は都道府県を対象とした会議・研修が多く、交通の利便性は重要
(H26年度 和歌山県職員出張実績：16回、25人)

- I 現所在地と比較して遜色がない
 - ・関西国際空港まで約40分 ⇒ 新宿(若松河田)・羽田間は約60分
 - ・新大阪駅まで特急で約60分 ⇒ 名古屋以西は和歌山の方が近い
- II 他の県庁所在地と比較して優れている
 - ・3時間程度の会議であれば、和歌山市は全国の県庁所在地から日帰り出張が可能
 - ※同条件で全国の県庁所在地から日帰りが可能なのは、14府県に限られる

③ 近畿の様々なネットワークを活用し、学識者、統計専門家を確保

- I 一般社団法人日本統計学会の役員数が東京に次いで多い
 - ・東京：35人、近畿：8人、中国：6人、東北：1人
- II 学識者数が東京以上に多い(H26年度学校基本調査による大学数)
 - ・近畿：152、東京：139、中部：139、関東(東京を除く)：116 等
- III シンクタンクの数で東京に次いで多い(2014年総合研究開発機構調査より)
 - ・東京：97、近畿：22、関東(東京を除く)：16、中部：16 等

◆ 全国を対象とし、その成果を最も活用するのは中央省庁という中で、移転によって何がよくなるか

① 財政的メリット

- I 現庁舎敷地の売却が可能
 - ・現庁舎敷地の売却による収入は**約300億円**を見込む
 - ※現庁舎は築47年が経過し、H18年に実施された調査で「**震度6強以上の地震で倒壊する危険性が高い**」と診断されており、耐震化工事が必要
- II 人件費の縮減により、統計調査の充実が可能
 - ・地域手当の縮減
東京都特別区 18% → 和歌山市 4% ⇒ **縮減効果 約8億円/年**
 - ・非常勤職員賃金の縮減
総務省 7,731円/日 → 和歌山県 5,950円/日 ⇒ **縮減効果 約1億円/年**

② 省内幹部への説明、国会対応、他省庁等との連携等は、霞ヶ関分室の維持により対応可能

◆ 市町村、民間と連携して機能の維持向上を図るための受入体制の工夫はあるか。

① 職員住宅を新設する場合、**和歌山市が建設用地を無償貸与**

② 県内の大手企業が移転先候補として、保有ビルの貸与を申し出

暮らしやすく便利なまち「和歌山市」

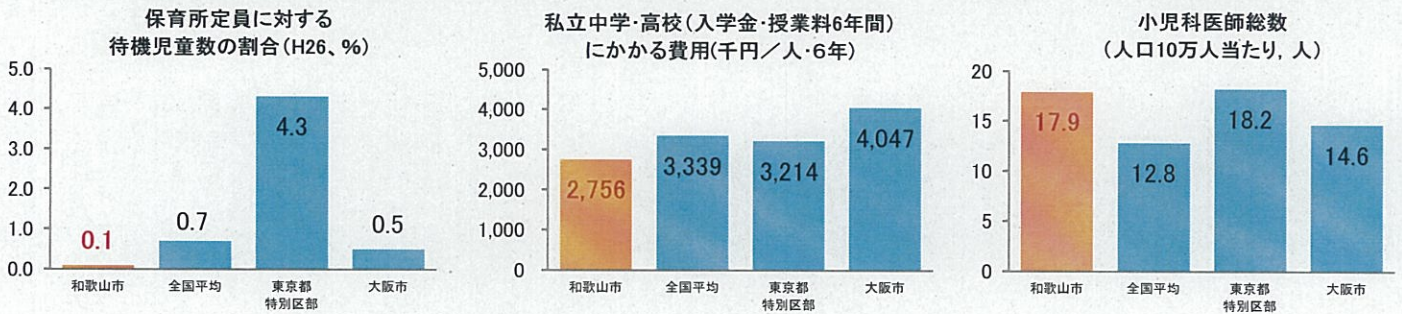
- 人口は県全体の約4割、市内総生産は県全体の約5割を占めるなど、県の中核を担う
- 公共施設、医療施設、教育施設なども充実しており、周辺の市町を含む広域的な圏域の中心都市
- 学部から大学院(博士前期・博士後期)へと至る一貫した観光学の教育課程を有する唯一の国立大学(H28.4に国際観光学研究センターも設置予定)をはじめ複数の高等教育機関が所在
- 外国人観光客数は近年急増しており、3年間で約10倍に伸びている
- 海・山・川などの良質な自然環境に恵まれた都市であるとともに、県庁所在地市としての都市機能を備えた便利な都市である

交通アクセスのよいまち

和歌山市は関西国際空港から車で40分、新大阪駅からは電車で約1時間の距離にあり、交通アクセスの良いまちです。また、鉄道駅が市内に31駅あるなど、市内の交通網も充実しています。

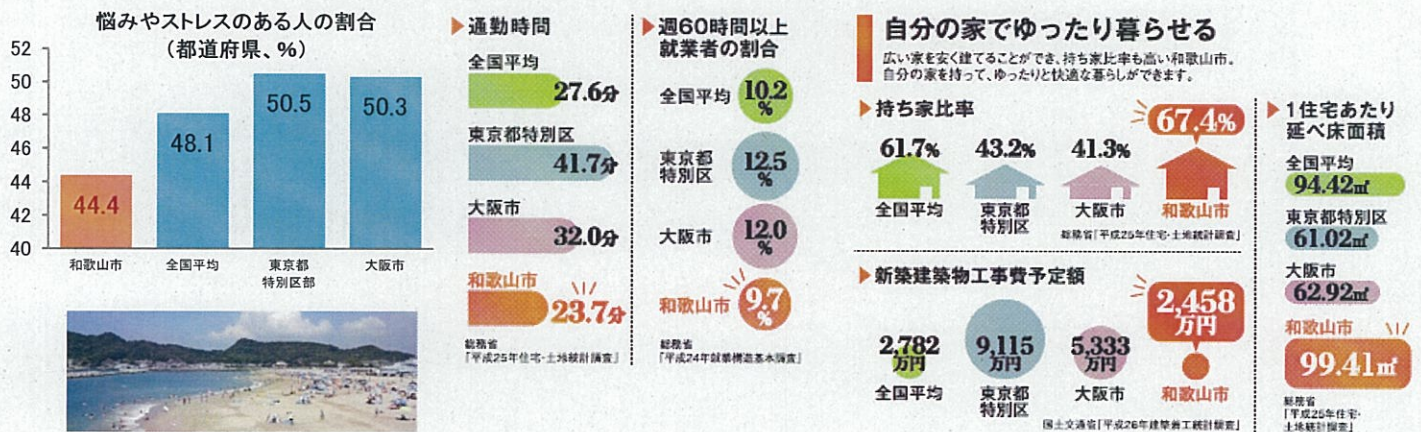
安心して子育てができるまち

和歌山市は待機児童がほとんどなく、少ない費用で中学・高校に通うことができます。小児科が充実しているので病気のときも安心です。



プライベートが充実するまち

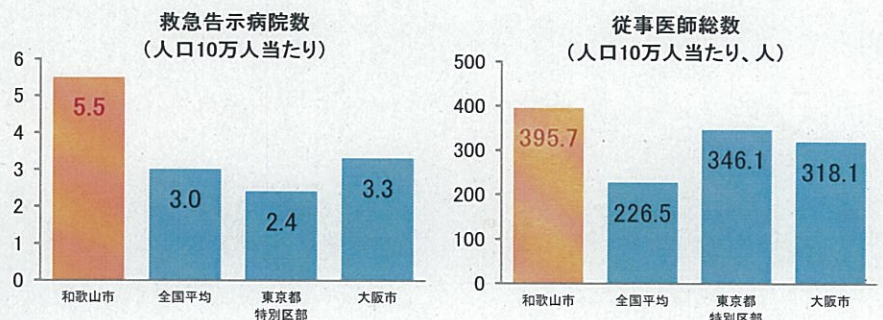
和歌山市の通勤時間や就労時間は全国平均より短く、プライベートな時間を充実させることができます。



医療介護体制が整っているまち

和歌山市は、救急告示病院が多く、もしものときも安心です。従事医師数も多く、医療体制が整ったまちです。

日本創成会議により、医療介護体制が整っている41圏域に選ばれました！
(平成27年6月)



総務省統計局 / (独)統計センター (和歌山市への移転)

庁舎

- 現庁舎** ・新宿区若松町の現庁舎敷地(約25,000㎡)を売却すると約**300億円**
- 新庁舎** 【既存施設の活用】
 - ・既存施設の耐震化・改修工事費は和歌山県が負担【新設の場合】
 - ・建設用地(県有地)を無償で貸与

住居

- 職員住宅** ・建設用地(市有地等)を無償で貸与
- 賃貸住宅** ・1㎡当たりの家賃(約1千円)は23区の約1/3
[例] マンション/50㎡(2DK)を借りた場合、
①和歌山市内:約5万円 ②23区:約13万円
・市内に優良賃貸物件が約1,000戸あり
- 分譲住宅** ・1㎡当たりの住宅地平均価格(約7万円)は23区の約1/7
・1㎡当たりの住宅工事費(約17万円)は23区の約2/3
[例] 敷地面積150㎡、延床面積120㎡の家を新築した場合、
①和歌山市内:約31百万円 ②23区:約102百万円 ⇒ 約1/3に

仕事のしやすさ

- 交通アクセス利便性は新宿と遜色がない**
 - ・関西国際空港までバスで約40分
⇒ 新宿(若松河田)・羽田間は約60分
 - ・新大阪駅まで特急で約60分
⇒ 名古屋以西は和歌山の方が近い

暮らしやすさ

○教育環境(和歌山市周辺)

- ・県立の中高一貫校(桐蔭、向陽)
- ・有名私立進学校
(智辯和歌山、近大附属等)
- ・高等教育機関の集中(県立医科大学、和歌山大学、近畿大学生物理工学部等)

○福祉・医療体制

- ・待機児童がほとんどいない状況で、女性が働きやすい
- ・人口10万人当たりの医師数(395.7人)が東京の1.3倍以上、2箇所的高度救命救急センターが設置されているなど、万全の救急医療体制

○自然環境

- ・海、山、川などの自然が豊富で、都会では経験できない健康的な生活を実現